

12月定例会

P6~11

12名が一般質問

委員会レポート

P4~5

山口東京理科大学に
要望書を提出

視察報告

P13

アクティブラーニング
について学ぶ

滋賀県彦根市

山陽小野田市議会

vol.76 令和7年3月

「全国各地から続々と」

行政視察

P13

の受け入れ状況

A-Square

特別対談

議会がもっと
よくなるために

P2~3



議会を代表して行事に参加！





山陽小野田市議会特別対談！

～議会がもっとよくなるために～

山陽小野田市議会は市民から信頼され、必要とされる議会となるよう、議員一丸となり委員会活動の強化に取り組んでいます。議員任期も残り約半年となり、議長、副議長、各委員長と対談を行い、活動を振り返るとともに今後に向けて話し合いました。

主な質問内容：印象に残っていること、これから議会として取り組めばよくなると思うこと、残り任期に対する意気込み など

◆議長

【チーム市議会となるために！】

- 平成 23 年から始めた議会報告会も令和 6 年には 200 回目を迎え、延べ 2600 名の市民にご来場いただいたことです。
- 委員会審査の充実のために勉強会の開催を行えば、精度の高い議論が期待できるのでは。
- 3 月には予算審査、9 月には決算審査があります。これまで以上に厳格な審査となるよう議員を鼓舞していきたいと思っています。



高松秀樹議長

◆副議長

【議員自らが自己研鑽に励むことを期待！】

- 議長のリーダーシップのもと、服装の自由化が進みました。また、政務活動費増額など議員の処遇改善を実施できたことです。
- 議会基本条例の改正など、さまざまな課題をクリアするため、議長をサポートし、粛々と解決に導きたいと思います。



中村博行副議長

◆議会運営委員会

議会運営、議会の会議規則、委員会に関する条例、議長の諮問に関する事項

【議会運営委員会が抱える問題や課題は全部完遂させる！】

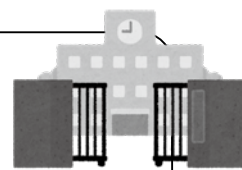
- 令和 6 年 10 月から「山陽小野田市議会基本条例」の検証と改正についての議論を行っています。委員長の職責は重く大仕事です。継続中ではありますが、終われば一番印象に残るのだらうと思っています。
- 議員一人一人の能力向上させるための取組みに、力を入れていくべきだと思います。

宮本政志委員長

◆総務文教常任委員会

総務部、企画部、協創部、監理室、教育委員会の所管に属する事項などを担当

- 体育館へ空調設備の導入に向け知見を高めるために、下松市と坂出市へ視察に行きました。また、山口東京理科大学の契約事務についての審査を行い、議会から当該大学に対して要望書を提出しました。
- 委員会審査に各議員がしっかり準備して臨めば、質疑の質が向上すると思います。



伊場勇委員長

◆民生福祉常任委員会

市民部、福祉部、病院局の所管に属する事項を担当

- 加齢性難聴者や地域猫活動など市民生活の課題に対する請願について議論を重ねました。特に地域猫の不妊、去勢手術への補助金の実現したことが印象深いです。
- 主に福祉や病院を扱うこともあり、市民生活に直結した委員会です。市民の意見を生かすことに尽くしていきたいです。



奥良秀委員長

◆産業建設常任委員会

経済部、建設部、水道局、農業委員会の所管に属する事項を担当

- 市民生活に影響の大きなものですが、将来的に安全安心な水の供給に向けて老朽化した設備更新のために財源確保が必要であったため水道料金の改定を可決しました。
- 地域公共交通の利便性向上や地域資源を生かした産業によるまちづくりに取り組みたいです。



藤岡修美委員長

◆広報特別委員会

議会広報の充実を図るための委員会

議会だより表紙のリニューアルやInstagramの導入など新しく始めました。老若男女問わず、いかに議会活動を市民の皆様伝えていくかという使命感で広報活動に取り組みました。他市からの視察に刺激を受けたことを生かしていきます。

恒松恵子委員長

◆広聴特別委員会

議会広聴の充実を図るための委員会

議会カフェやモニター制度など他市からの視察が増えました。その説明資料として広報・広聴を分かりやすくパワーポイントにまとめました。これからは積み残した課題整理に努めていきます。



森山喜久委員長

◆政策提案特別委員会

政策立案、政策提言等の強化を実現するための委員会

市が抱える課題など特定のテーマについて委員同士が党派を超えて議論しています。今後は常任委員会が定期的に政策提言等ができるようになればと思っています。政策提言や条例といった成果物を残すだけでなく、改選後につながる仕組みづくりをしていきたいです。

大井淳一郎委員長

山口東京理科大学に要望書を提出

●「物品発注などに関して市内業者を優先して発注するよう求める要望書」を提出

概要 令和6年10月31日に開催した委員会において、要望書を議長に提出することが決まり、11月29日に議長と総務文教常任委員長で山口東京理科大学の理事長に要望書を提出しました。令和5年10月10日に引き続いての要望で、さらに発注に改善の余地があることから改めて申し入れました。市内企業の育成や地域経済の活性化を図るために、大学が行う契約は市内業者を優先すること、大学の全ての教職員にその必要性を周知徹底することなどを求めました。



山口東京理科大学



高松秀樹議長から池北雅彦理事長に要望書を提出

令和6年度をもって赤崎小学校松原分校を廃止

●山陽小野田市立小・中学校条例の一部を改正する条例の制定

概要 少子化に伴う在籍児童の減少により効果的な教育活動の実践が困難になっていくこと等を考慮し、※インクルーシブ教育の観点から市内各小中学校に設置している特別支援教育の充実を図るため、松原分校小学部を廃止するものです。なお、松原分校中学部は令和9年度末で廃校する予定です。



松原分校

主な質疑

Q このたびの廃校で、赤崎小学校の通常学級の児童と来年度から特別支援学級に通うと思われる児童との交流や共同学習に影響はないか。

A 閉校を見据えて一昨年度から準備を進め、赤崎小学校の本校と松原分校の児童が運動会や修学旅行を一緒に行っている。その流れが松原分校中学部と竜王中学校の交流にも広がっているので影響はないと考える。



※ インクルーシブ教育とは？

障がいの有無に関係なく全ての子どもたちが共に学び、共に成長できるような教育のこと

令和6年度をもって環境調査センターを廃止

●環境調査センター条例を廃止する条例の制定

概要 環境調査センターは市民の健康の保護や生活環境の保全を目的として、環境に関する調査、研究業務を行う機関として、昭和45年12月に設置されました。施設の老朽化により、維持管理が困難な状態にあること、近年、市内の大気や水質に関する調査結果が良好な状態で推移していることから、大気や水質に関する調査内容等を精査した上で民間委託することとし、公共施設等総合管理計画に基づき令和7年3月31日をもって環境調査センターを廃止するものです。

主な質疑

- Q** 民間委託になった場合、職員はどうなるのか。
- A** 化学職で採用された者もいるが、本庁で業務に従事する予定である。
- Q** 廃止になった場合、その後の施設や土地はどうなるのか。
- A** 廃止後に市有財産活用検討委員会に諮って検討していく。



環境調査センター

江汐公園の管理棟にエアコンを設置

●江汐公園管理棟空調設備整備事業

概要 近年の猛暑により、公園利用者と指定管理者からの設置要望があり、来年の夏までにエアコンを設置するため、予算を補正するものです。一般の公園利用者が利用されるスペースの休憩ホールと展示コーナーのあるホールにエアコン2基が設置されます。また、キュービクルから管理事務所までの電源の引き込みも併せて行います。エアコンの納品から設置まで、年度内に完了しないことから410万円全額を繰り越すものです。

繰越明許費 410万円

主な質疑

- Q** 江汐公園のトイレなど他の施設を修繕する計画はあるのか。
- A** 大規模な修繕の予定はないが、臨機に対応していく。



江汐公園管理棟

本市公共交通の利便性向上に向けて

【今回の一般質問】

- ・公共交通の改善
- ・避難所の防災備品の備蓄



調査の反映

Q 市民アンケートでは、75%が公共交通の維持・拡大に向けて財政支出が必要と答えている。路線バスを利用しにくい地域に対してデマンド交通を運行させる考えはないか。

A 現在の計画では新しい地域にデマンド型交通の導入予定はないが、今後デマンド交通だけでなく、ライドシェアなど、新たなツールの導入について研究していく。

Q 不二輸送機ホールや市民館等で大規模なイベントが行われるときには、全市的にシャトルバスを運行させる働きかけはできないか。

A イベント会場の駐車場の有無や来場者数などに応じて、イベント主催者がシャトルバスの運行の必要性を判断すべきものである。

本市独自の福祉タクシー券への挑戦

Q 福祉タクシー券制度は、一般財源であるので国や県の意向を気にすることなく、市独自の制度設計が可能である。市民の声に真摯に耳を傾け、不満には柔軟な対応をしてほしい。

A 障がいのある方を含め、活動的な生活を送ることは心身の健康のためにも大切である。活動的で外出が多い方の把握は難しいのが現状だが、他市の最新の助成状況を調査し、本市の制度の在り方を研究していく。



公用車の全庁共有化を推進しては

【今回の一般質問】

- ・公用車の維持管理
- ・インクルーシブ遊具の設置



公用車の一元化

Q 公用車の保有台数は何台か。稼働率を把握しているのか。

A 公用車の保有台数は175台である。財政課で一括管理している台数は35台であり、特別会計については9台、企業会計については4台である。稼働率は、令和6年度の上半期で53.2%である。

一元化による保有台数の適正化

Q 公用車の全庁共有を進めることで、各部署の管理負担を軽減するとともに保有台数の適正化が図れるのではないか。

A 一元管理することで効率化が図られるという一般論はある。しかし、特別会計のもの、現場に出る機会の多い車等に関しては、それぞれの課での管理の方が運用しやすいため、今の体制を変えるつもりはないが、リース車等については今後増やしていく予定である。

Q 災害時の高潮ハザードマップエリア内において、小野田消防署の消防車両は避難場所として、小野田霊園が指定されている。消防団の消防車両の事前避難の対応はどうか。

A 消防団に関しては、緊急移動先は定めていない。場合により避難広報や避難誘導等の活動を行っている可能性も高く、臨機応変に高台に移動する等の対応を指示している。



公用車の待機状況



つねまつけいこ
恒松恵子議員



読書に親しめる 場所の確保を

【今回の一般質問】

- ・子どもの読書活動推進
- ・読書推進によるまちづくり
- ・ＤＣと連携した観光推進

Ｑ 図書館は市民の文化活動推進の場として重要な位置付けである。さらに充実した施設になるよう来館のきっかけとなる新しい手法を取り入れてはどうか。

Ａ 現在、フリー Wi-Fi を整備している。またサイエンスカフェなどリラックスして参加できる行事を開催している。さらに図書館創発会議など図書館利用者で構成されたボランティア団体の主催でコンサート等を行うなど新たな利用者の創出に努めている。

Ｑ 地域住民が読書に親しむ場所として地域交流センターの図書室整備や蔵書の充実は重要であると考えるが、現状はどうか。

Ａ 全ての地域交流センターに図書館の分館や図書室が整備されており、1センター平均2300冊の蔵書がある。蔵書の充実に対する予算の増額は考えていない。

市内から書店をなくさない

Ｑ 経済産業省はまちの書店を文化創造に間接的につながる産業の基盤としている。まちの書店維持に対する市の考えはどうか。

Ａ 本市も書店が数店舗となり、全国と同様の傾向であると承知している。書店特有の課題に対応した支援が国において進められた場合、速やかに対応したい。



やたまつお
矢田松夫議員



市内初の特認校 制度を実施する

【今回の一般質問】

- ・厚陽小中学校特認校制度実施
- ・旧津布田小学校バス運行

通学区区域の撤廃

Ｑ 特認校制度を導入するものの、実際は市内小規模校同士の児童の引き抜きであり、他校の特色ある地域連携と遜色はない。募集方法、申請、通学、街づくりなど児童生徒や保護者の考えとは乖離があると思われる。導入の目的と意義が不明瞭ではないか。

Ａ 厚陽小中学校に特認校制度を導入することで、小規模小中一貫校ならではの特色ある教育活動を推進し、児童生徒の増加を図るとともに、地域の拠点施設の活性化につなげることを目的としている。

Ｑ 本校では毎年半数近い児童が他の中学校に就学している実態があるため、要綱で卒業するまで就学を義務付けしているのではないか。

Ａ 本校の特色に小中一貫教育があり、中学校まで行ってほしいが、保護者からの申し立てがあれば、協議の上、途中から学校の指定を変更することもあり得る。

4月1日から導入の厚陽小中学校

Ｑ 登下校や子供会活動も別々になり地域活動の分断と生活圏の崩壊につながっていくように思われる。住んでいる地域の子供が一緒になって活動できる保障があるのか。

Ａ 通う学校が違うから、住んでいる地域の活動に参加できないことはない認識している。



特認校導入の厚陽小中学校

なかおかえいじ
中岡英二議員

防災の自助公助 共助の役割が重要

【今回の一般質問】

- ・防災対策の自助の役割
- ・防災対策の公助の役割
- ・防災対策の共助の役割

避難袋の常備

Q 退去時のマニュアルとして、地震発生直後の市民の行動で注意することがあるか。

A 地震発生直後揺れている場合は、身を守る行動として低い姿勢を保ち、頑丈な机やテーブル等の下に隠れて、自分の頭・首などの安全を確保する。揺れが収まったら、家庭であれば火元を消し、ブレーカーを落として電力による発火を防ぐ。こうした作業が終われば、外に出て周りに危険がない広い場所に避難することが大事である。

Q 防災リーダーや自主防災組織を育成し、RMOを中心とした各地域の防災体制を強化することについてどう考えているか。

A 今後はRMOを中心とした活動に代わっていくことになり、地域の活動がさらに進むことを期待している。市としては引き続き地区の防災体制の強化に向けて、出前講座の実施や地区の防災訓練への協力をしていく。

避難所の備蓄品は十分なのか

Q 避難所の運営のため、生活必需品・水・食料・医薬品・簡易トイレ等の在庫は十分に確保されているか。

A 山陽小野田市地域防災計画や山陽小野田市業務継続計画、山陽小野田市避難所備蓄計画に基づき計画的に備蓄を行っている。



小野田消防署

耳の聞こえは社会 をつなげる

【今回の一般質問】

- ・加齢性難聴補聴器購入補助
- ・東沖緑地の活用
- ・おむつのサブスク導入

いばいさむ
伊場勇議員

Q 今後さらに高齢化社会が進み、加齢性難聴で生活に支障を来す方が増加する状況を鑑み、障害者認定基準に達していない高齢者に対し、市独自の補聴器購入のための補助制度の創出が必要と考える。加齢性難聴によるリスクをどのように把握されているか。

A 本市の加齢性難聴者数は約5300人と見込まれ、コミュニケーションや社会参加を困難にし、社会との関わりを希薄化させ、閉じこもりの要因等になり得るものと考えており、認知症に及ぼす影響が大きいものの一つであると認識している。

Q 補聴器購入のため本市が近隣市と同等程度の補助をした場合、予算がいくら必要と想定しているか。

A 補助をしている下関市の対象者、非課税世帯、助成額上限3万円等の要件に当てはめると、約270万円の予算が必要と試算している。

国県の補助はなく一般財源から支出

Q 障害者認定基準に達していない加齢性高齢者に対して、市独自の補聴器購入補助制度を創設する予定はあるのか。

A 近隣市を参考にしながら、本市に適した制度設計を早期に固め、補聴器購入助成制度の創設を実現できるよう努めていきたい。



補聴器購入補助



ふじおかおさみ
藤岡修美議員



高泊地区の まちづくり

【今回の一般質問】

- ・ 中学校部活動の地域移行
- ・ 高泊地区のまちづくり

交付金を活用

Q 高泊地区運営協議会の拠点である高泊地域交流センターは、津波や高潮の被害が想定されるが、現在の場所でよいのか。

A 施設の移転は困難だが、災害発生時は地区運営協議会の防災に関する取組みが重要であり、活動拠点を避難場所に移動するなどの対応をお願いしたい。

Q 高泊地区の通学路や公園の草刈り等の管理が行き届いていないように思われるが、管理を高泊地区運営協議会に委託することは可能か。

A 関係者との協議は必要だが、高泊地区の通学路や公園について、高泊地区運営協議会に維持管理を委託することは可能であり、地域づくり交付金の地域選択事業として地域に提供できるよう検討をしていきたい。

縄地ヶ鼻公園は本市の財産

Q 縄地ヶ鼻公園の岩石は、2億5000万年前の日本列島形成の歴史の一部を示しているとされており、Mine秋吉台ジオパークにも負けない本市の財産であると考えるが、今後の公園整備や利活用をどのように考えているか。

A 公園整備の予定はないが、縄地ヶ鼻公園振興会主催の水仙まつりなど地域団体による活用がされており、市は今後も後方支援を行う形で応援をしていきたい。



縄地ヶ鼻公園の水仙

なかしまよしと
中島好人議員



紙の保険証を 残してほしい

【今回の一般質問】

- ・ マイナ保険証
- ・ 南海トラフ地震対策
- ・ 学校給食の無償化

安心が 一番

Q 12月2日から現行の保険証の発行が中止され、トラブルが相次ぐ中、市民から不安の声が上がっている。国のマイナ保険証利用率は9月末時点で13.87%だが、本市の利用率は市職員を含めどのようになっているか。

A 利用率は25.58%である。国の平均は社保を含め16.47%であり、高い数値となっている。また、市の職員の利用率は19.27%である。

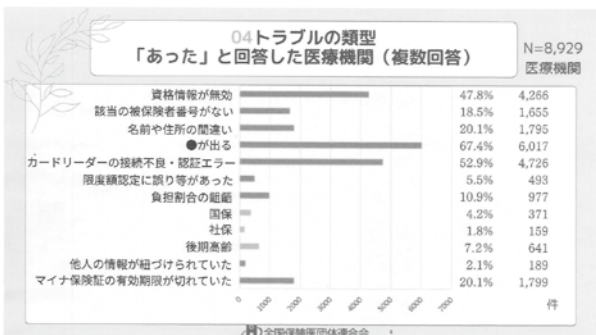
Q 全国保険団体連合会が5月以降のトラブルについて1万2735の医療機関の調査結果の7割に当たる8929の医療機関が「トラブルがあった」と回答している。特に「有効期限が切れていた」が20.1%もあり、これから増えることから無保険者が発生するのではないか。

A マイナ保険証は機械のため読み取れないこともあると思うが、資格情報のお知らせを持って受診していただければ10割負担なしで受診できる工夫がされている。

保険証を残すことで問題が？

Q 同じ調査の中で、トラブルの対応では、「現行の保険証で確認し、解決した」が78%あった。このことより、医療機関の現場では、国民の保険を守るためにも現行の保険証を残してほしいという意見が90%近くあった。国に存続を求めているかどうか。

A 現行の保険証の存続を求めることを国に申し入れることはしない。



トラブルの類型

まえだこうじ
前田浩司議員



国際感覚豊かなグローバル人材育成

【今回の一般質問】

- ・国際交流
- ・農業用ため池の防災対策

地域間交流

Q 中学生海外派遣事業の意義と目的は何か。

A 本市と友好都市であるモートンベイ市との交流を図り、友好親善と相互理解を深めるとともに、広い視野と国際感覚を持った次世代を担う人材を育成することを目的としている。2018年以降は中学生8名を派遣しており、今年は16名の応募があり選考により決定した。

Q 多文化共生社会の実現に向けて本市はどのように取り組み、今後どのような方向性で進めていくのか。

A 日本語教室を高千帆地域、厚狭地域にそれぞれ1カ所ずつ開設している。国際交流協会主催の世界各国の料理教室、親睦と相互理解を深めることを目的としたふれあいバスツアーなどを通して、お互いの文化を理解し合う機会をつくり、地域の人々の理解促進に努めている。

国際文化の理解に友好な関係は重要

Q 姉妹都市（友好都市）の交流で目指すものは何か。

A これまでの友好の絆を一層深めるため、山口東京理科大学とサンシャインコースト大学との連携交流、学生間の交流だけでなく民間同士の文化及び経済交流に向けた取り組みにより、異文化への相互理解が深まり、ひいては多文化共生の国際意識醸成につながることを期待している。



オート事業を大切に にし盛り上げよう

【今回の一般質問】

- ・山陽オート関係者への支援
- ・いじめやひきこもりの対策
- ・障害者への支援 など



よしながよしこ
吉永美子議員

Q 公共施設初のAED設置救急ステーションは山陽オートレース場である。しかし、市広報紙に記事の掲載を依頼すると「ギャンブルですよ」と職員とは思えない発言があったり、「ボランティアなら」と言いながら、地域の河川清掃にオート関係者が参加しても、市広報紙に掲載しなかったりなど、冷たい扱いがあったときでも、山陽オートレース選手や受託会社はふるさと納税やエコバッグの寄贈など市に多大なる貢献を続けてきた。今後、市はどのように支援していくのか。

A 少しでも多くの委託料や収益保証を確保するために、売り上げの増大等への施策について本市も一丸となって協力し、難局を乗り切るためのよきパートナーとしてさらに信頼を深めていきたい。特に市民には、オートレース事業は本市のためにさまざまな分野で役立っていることを発信していきたい。

オート選手の環境整備を急げ

Q 令和2年度9月に策定をした個別施設計画において、選手の宿舎、競走車のロッカーなどの改修等について「検討」となっているが、現在どうなっているのか。

A 選手宿舎いわゆる管理地区も含め検討しており、まだその作業をしている途中である。



水道料金の激変緩和に貢献のオート

オートを応援



議
会
中
継
ペ
ー
ジ
を
チ
ェ
ッ
ク



なかむらひろゆき
中村博行議員



藤田市長の政治 姿勢とまちづくり

【今回の一般質問】

- ・ 持続可能な地域農業支援
- ・ 藤田市政の実績と課題

市長は続投に意欲

Q 第2代山陽小野田市長に就任され、7年8カ月余りが経過した。この間の総括として実績をどう捉えているか。

A 市長就任以来「協創によるまちづくり」を掲げ、第二次総合計画基本計画、中期基本計画を策定し、まちづくりに必要な施策を計画的に盛り込んできた。市内11地区の地区運営協議会設立支援、国内初の官民連携事例となるLABV事業の推進などである。また庁内体制の拡充、国や県の省庁への職員派遣を行うなど関連機関との関係性の強化や、生成AIの活用、市の公式LINEなどデジタル化の推進にも努めてきた。

4月の市長選出馬表明

Q 今後の課題と来る令和7年4月に執行予定の市長選挙に対する考え方を問う。

A 全国的な共通課題の一つが人口減少である。対策として経営資源（ヒト・モノ・カネ）の充実を図り、移住定住対策を推進し、RMOの推進による新しいまちづくりの形態を確立する。課題は山積みしているが、持続可能なまちづくり、まち育てを先頭に立って進めたいという3期目に向けて強い決意を固めた。第二次総合計画の終期に向け、集大成の歩みを進めていきたい。



藤田市長の市長選出馬表明

やまだのぶゆき
山田伸幸議員



宇宙レーダー市民 説明会開催求めよ

【今回の一般質問】

- ・ 宇宙監視レーダー
- ・ 高齢者と地域公共交通
- ・ Aスクエア周辺の活性化

監視レーダー

Q 宇宙監視レーダーの試験照射は、7月に実施された試験では、レーダー出力が明かされないまま実施されたが、そのようなやり方で問題なく行われたと言えるのか。

A レーダーの試験は電波防護指針に基づいて実施されるものである。しかし、レーダー出力は防衛機密に当たるため公表されない。防衛省からは7月の試験照射ではレーダー施設に不具合があるとの報告を受けたので、再度の試験を行うよう求めた。

Q 再試験の際には立ち会いを求めている市民団体も立ち会いできるように要請してもらいたい。また、実際に運用された後に市民の安全が脅かされることはないのか。

A レーダー電磁波の実測試験に市民団体の方々が立ち会いできるように要請する。有事において相手の意図や対応が異なるために、施設が攻撃目標となるかについて答えることは困難であると防衛省から回答があった。

改めて住民説明会の開催を

Q 埴生の施設が軍事目的であることは明らかで防衛通信衛星の防御に欠かせないものとなっている。改めてこの施設についての住民説明会開催を求めているのか。

A 必要があればそのようなことについては防衛省側に要請する。



宇宙監視レーダー

市議会モニターとの意見交換会を開催

これまでの市議会の活動や運営について、市議会モニターの皆さんから意見を頂くため、意見交換会を1月17日、27日に開催しました。

意見交換会で出された意見

- ・議会だよりの中で市民に「傍聴しに来てください」と記事にすれば興味のある人は来ると思う。議会傍聴ができることを知らない人が多いと思う。
- ・中学生の議会傍聴は事業として行われているが、例えば、高校生・大学生に対して、議会から「本会議に来てみませんか」と招待状を送ってみてはどうか。招待されれば来るかもしれないと思う。



議会報告会 & 意見交換会

議会カフェ 73 人の市民が参加！

議会カフェを2月3日にAスクエア、不二輸送機ホールの2カ所で開催しました。市議会議員が皆さんの地域にお邪魔し、議会でどんなことが話し合われたのかを報告し、皆さんの生活に関わりのあること等、いろいろな考えを聞かせていただきました。

主な報告内容

- ◇赤崎小学校の松原分校の廃止
- ◇ふるさと納税の寄附額増額
- ◇環境調査センターの廃止
- ◇条件付き寄附の活用する内容の決定
- ◇地域農業経営基盤強化促進計画の策定
- ◇江汐公園管理棟にエアコンを設置

月 日	開催場所	参加人数
2月3日	Aスクエア	50人
	不二輸送機ホール	23人



団体との議会カフェも開催

意見を広く市民から聴くという広聴特別委員会の使命から団体とも意見交換を開催しています。

令和7年2月4日はスポカルクラブSGC(14人出席)と「中学生の部活動の地域移行」を主なテーマとして意見交換を行いました。

令和6年

月 日	団体名
11月14日	山陽商工会議所青年部
11月19日	小野田商工会議所青年部
11月26日	小野田青年会議所

令和7年

月 日	団体名
2月4日	スポカルクラブSGC

視察報告 至誠一心会

■所属議員 笹木慶之、奥良秀、白井健一郎、恒松恵子

■視察日 令和6年11月11日

■視察場所 滋賀県彦根市

彦根市の特徴は、「アクティブラーニング教室」の整備と、それをうまく活用して生徒たちの主体的で協働的な学ぶ姿勢を引き出し、教育の最高目的である「生きる力」を育んでいるところにある。

山陽小野田市でも類似の取り組みをしているが、彦根市の場合は、アクティブラーニング教室というハード面の整備だけではなく、その教室の特性を生かして生徒間の「協働」意識をより育くもうとしているところにあるように感じられた。「みんなで協力し合って」というところが徹底されていた。

彦根市立城南小学校アクティブラーニング教室において授業参観。その後、質疑。



今後本市でも、タブレットを利用したアクティブラーニングの実践につき、さまざまな工夫がなされるだろうが、生徒も教師も情報機器やプレゼン方法のテクニックに偏重するのではなく、「生きる力」を形成するためという教育の最高目的を常に忘れずに取り組む必要があると感じた。

◎おいでませ山陽小野田市へ

今年度も全国各地の議会から視察に来られており、本市への関心の高さがうかがえます。他の議会と情報交換の機会でもあり、充実した時間となっています。

月 日	自 治 体	内 容
5月9日	北海道江別市	政策提案特別委員会、議会政策討論会など
5月15日	岐阜県各務原市	生成AIを活用した自治体業務の効率化
5月15日	新潟県新発田市	LABVプロジェクトによるまちづくり
7月29日	兵庫県赤穂市	議会改革の取り組み、デジタル化推進特別委員会 など
10月29日	富山県砺波市	シティプロモーション
10月30日	佐賀県伊万里市	議会の広報広聴活動
11月5日	佐賀県武雄市	LABVプロジェクトの取り組み
11月7日	埼玉県東松山市	山陽小野田市LABVプロジェクト
11月8日	茨城県町村議会議長会	LABVを活用した官民連携まちづくり事業の取り組み
11月19日	埼玉県	公共施設のアセットマネジメント
1月14日	広島県江田島市	議会だよりの編集体制、市議会モニター制度など
1月15日	青森県三沢市	商店街振興に係る取り組み
1月21日	栃木県塩谷町	ふるさと納税の先進的取り組み
1月22日	愛媛県八幡浜市	議会改革の取り組み
1月28日	佐賀県基山町	議会基本条例に基づく議会改革の取り組み
1月29日	茨城県守谷市	子育て短期支援事業、病児保育施設



◎議案の議決結果



←全議案（21件）の審議結果は、ホームページに掲載しています。

12月定例会で議案等21件を審議し、全て全員賛成で決しました。

委員会中継を見てみませんか？

委員会室で開催される会議を、ユーチューブで配信しております。

ご覧になる際は下記注意事項をご確認ください。

記

- ◆企業広告は議会と関係ないものです。
- ◆著作権は本市議会に帰属します。
- ◆配信内容は公式記録ではありません。
- ◆スマートフォンによる視聴は、パケット通信料定額制の加入契約をしていない場合、通信事業者から高額な料金請求がくる場合がありますので特にご注意ください。

など

総務文教常任委員会



※定点映像となります

～委員会中継・録画を見る方法～

▼山陽小野田市議会ホームページから
中央の委員会室中継・録画を選択、
ユーチューブ配信ページのアドレスを選択

▼このページ下のユーチューブ QR コードを
読み込む

委員会審査の充実に取り組んでいます。
ぜひ、ご視聴ください。



☆ショート動画を作成！☆

12月定例会より新たな試みとして、一般質問の事前告知を短い時間でSNS（Instagram、フェイスブック）に投稿しました。動画は30秒程度で見やすく、議員の個性が表れています。ぜひ、ご覧いただき、今後の進化にご期待ください。

お知らせ

3月定例会会期日程（予定）

会期中の日程

会期日程は、諸事情により変更される場合があります。ご了承ください。

月 日	内容
2月20日(木)	本会議（初日）
2月21日(金)	2委員会・分科会
2月25日(火)	委員会・分科会 委員会
2月27日(木)	一般質問
2月28日(金)	
3月 3日(月)	
3月 6日(木)	一般会計全体会
3月 7日(金)	本会議
3月10日(月) ～ 3月12日(水)	2委員会・分科会
3月21日(金)	一般会計全体会
3月24日(月)	本会議（最終日）

編集室より



▼昨今は地震をはじめとする多くの自然災害に見舞われ、天気予報やニュース速報に敏感に反応してしまいます。物価高騰に困惑している中、電話詐欺や闇バイトも耳にし、不安が膨らむばかりです。各自が災害の備えや防犯対策を行うことも重要ですが、日頃から家族や隣人とのコミュニケーションを取ることで、声の掛けやすい、助けやすい関係を築いておくことも大切です。また、2025年は十干の「乙（きのと）」と十二支の「巳（み）」が合わさった「乙巳（きのとみ）」で、60周年期の干支の42番目に当たり、「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく年」といわれる、とても縁起のよい年です。しなやかに前進できる一年になることを望みます。（福）

発行 山陽小野田市議会／編集 広報特別委員会

〒756-8601 山陽小野田市日の出一丁目1番1号

☎ 82-1182

ホームページ <https://www.city.sanyo-onoda.lg.jp/site/sigikai/>

発行日 令和7年3月1日



市議会



市議会



市議会



市議会

ホームページ フェイスブック インスタグラム ユーチューブ